

報告第 8 号

株式会社夢街人とうじょうの経営状況の報告の件

株式会社夢街人とうじょうの経営状況について、地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）
第 2 4 3 条の 3 第 2 項の規定により報告する。

令和 7 年 6 月 2 日提出

加東市長 岩 根 正

経営状況報告書

株式会社
夢街人とうじょう

目 次

第26期 事業報告	1～9
参考資料1	
令和6年度道の駅とうじょうオリジナル商品等の売上状況	10～11
広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況	12
道の駅とうじょう利用状況	13
道の駅とうじょう売上状況	14
決算報告書	15～22
貸借対照表	16～17
損益計算書	18
販売費及び一般管理費	19
株主資本等変動計算書	20
個別注記表	21
監査報告	22
比較決算報告書	23～28
第26期部門別損益計算書	29
営業契約書（抜粋）	30～33
部門別人件費資料	34
第27期 事業計画	35～38
収支計画	39

第 2 6 期 事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日

1 事業概要

令和 6 年度は、パリオリンピックでの日本人選手のメダルラッシュやアメリカ大リーグでの大谷選手の記録的な活躍など明るいニュースがあった一方で、多くの国で政権交代が相次ぎ、ロシアによるウクライナ侵攻や中東地域における地政学リスクは未だ収束する見通しは立っておらず、地球規模での温暖化、国内においては自然の脅威としての夏の酷暑や豪雨災害、また経済環境においても円安継続と米中の貿易摩擦を原因とした原材料価格の高騰で物価上昇が続く一年になりました。

このような状況の中、道の駅とうじょうにおいては、第一四半期の直営 3 部門の売上合計は前期比 97.3%、道の駅全体の売上は 6 月のみ前期実績をクリアしたものの 3 ヶ月間合計では前期比 95.6%と少々厳しいスタートになりました。第二四半期は、8 月下旬の台風 7 号の影響で時短営業があったものの、9 月の残暑がプラスに働いて、直営 3 部門合計とテナント部門の駅ラーメン華ともみの木HOUSEが前期実績を超え、上期の道の駅全体の売上は前期比 97.7%、客数は前期比 97.5%の結果となりました。

第三四半期は、バス立ち寄り台数が減少したものの、特産館の新商品導入や直売所の苺の生育が安定したことにより、売上は直営部門 3 店舗合計とテナント部門の駅ラーメン華が前期実績を超えることができました。第四四半期は 1 月の年始の来店客数が前期実績を上回ったことと、下旬までは比較的穏やかな天候であったため、1 月単月の直営 3 部門の売上は前期比 105.4%、2 月、3 月は厳冬の影響があったものの、SNSでの商品紹介を中心とした広報活動が功を奏し、特産館の 3 ヶ月間の売上は前期比 107.9%、直売所は前期比 108.9%と大きく伸ばすことができました。

令和 6 年度通期での道の駅とうじょう全体の売上は前期比 98.7%、客数は前期比 97.2%の結果となりましたが、当期の純利益は約 365 万円でした。

(1) 事業実績

日 時	事 業 内 容
令和6年4月6日(土)	山田錦日和出店
令和6年6月25日(火)	令和6年度第1回兵庫県道の駅駅長会出席
令和6年7月28日(日)	農産物直売所 すいか即売会
令和6年8月24日(土)	農産物直売所 ジャンボかぼちゃ・ハロウィンかぼちゃコンテスト開催
令和6年8月30日(金)	台風10号接近のため、特産館・直売所18時閉店
令和6年10月28日(月)	トイレ改修工事開始
令和6年11月11日(月)	令和6年度第2回兵庫県道の駅駅長会出席
令和6年11月17日(日)	はりちゅうの日出店
令和6年12月8日(日)	山田錦日和出店
令和7年1月27日(月)	令和6年度第3回兵庫県道の駅駅長会出席
令和7年2月11日(火)	トイレ改修工事完了・供用開始
令和7年3月23日(日)	道の駅とうじょう『感謝祭』開催

(2) 重点事項等への取組実績

重点事項等	取組実績
・当道の駅施設が利用者にとって有効に機能するように創意工夫に努め、道の駅3大機能である「休憩」・「情報発信」・「地域の連携」を体験できる安全で活力のある道の駅の運営を目指す。	1. 休憩機能の強化 ・加東市と兵庫県によるトイレ改修工事を実施。個室数が増えて混雑時にも待つことなく快適に利用いただけるようになり、トイレの改修を行った旨SNSで発信することで集客にも役立てることができた。 ・駐車場の管理として、第一駐車場満車時には、案内看板を利用した第二駐車場への安全な誘導、加えて繁忙期には警備員を配置し、駐車場の混雑による事故防止に留意した。大型車の騒音対策として、第二駐車場にアイドリング防止の看板を設置した。また、駐車場内に野良猫の迷い込みが発生しており、神戸市内のNPO法人と協議した結果、捕獲機を設置。捕獲された野良猫は保護猫として引き取っていただいた。

・ 地場産品の展示販売、消費拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して加東市及び北播磨地域の経済・観光の活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。	・ 情報コーナーでは家庭内ゴミの廃棄が多発するため、利用者に対して不法投棄防止を訴えかけるPOPと防犯カメラ設置のステッカーを配置し、対応している。 2. 情報発信機能の強化 清潔で居心地の良い情報コーナーの空間維持を目的として、利用者のマナーアップを訴えかけるPOPを配置するとともに、度を越すようなマナー違反の利用者へは直接声掛けをするなど注意を促した。また、利用客を道の駅から観光施設へ誘導できるよう、加東市及び北播磨地域のタイムリーな観光情報の提供を心掛けた。 3. 地域の連携強化 SNSで加東市内のイベントや季節の情報を入手し、行楽客を観光施設と道の駅の双方へ誘導できるような投稿を実施した。また、テレビ番組の取材やラジオ番組出演の際には旬の農産物や商品情報とともに、加東市へ来訪していただけるよう、季節ごとの観光情報や文化の発信に努めた。 1. 前期に続き、兵庫県道の駅駅長会の企画で県内道の駅を巡るスタンプラリーを実施。加えて「フリーペーパー道の駅」のInstagram公式アカウントで加東市のイベントを紹介し、集客向上に努めた。 2. 加東市内及び近隣地域のイベントに出店した際には関係者と情報交換を行い、オリジナル商品の開発や新規取引先の開拓に繋げた。 3. 特産館と直売所の利便性の向上と混雑時におけるレジ業務をスムーズに行うため、4月よりバーコード決済導入準備を進め、10月から運用を開始した。
--	---

(3) 部門別の取組実績

部門	対前年比		取組実績
	売上	入込客数	
特産館 「夢街人」	・対前年 99.2% ・対前々年 96.8%	・対前年 96.3% ・対前々年 92.3%	1. 特産館部門の新規仕入先の開拓 新規仕入業者 12社 新規仕入先の売上金額 1,608千円 2. 全国有数の山田錦の産地である加東市をPRするため、特A地区の酒造好適米「山田錦」を使用した酒類の販売を強化した結果、酒類の売上は818万円で、前期比108.1%と伸ばすことができた。また、山田錦を使用したオリジナルせんべいを開発。さらに、品揃えを充実させるため北播磨地域の新規仕入れ先を開拓し、山田錦を使用した商品の取り扱いを増やして既存顧客にも飽きられないような演出を施した。その結果、下期の売上は前期比102.9%と伸ばすことができた。
農産物直売所 「コスモスの館」	・対前年 100.4% ・対前々年 99.0%	・対前年 94.6% ・対前々年 92.0%	1. 当期は前期不振であったいちごの販売促進を生産者に促し、新規生産者を1名増員したことで、令和6年12月～令和7年3月の4ヶ月間における果菜類の売上が前期比116.3%と伸ばすことができ、加えて桃の売上も前期より大幅に伸ばすことができた。その要因としては、配送ドライバーを確保できたことで、商品の調達が容易になり販売機会のロスが大幅に減ったことが考えられる。

			その結果、当期のコスモス会の売上は過去最高の１億１，３７８万円で、前期比１０２．５％と伸長した。 ２．当期は、８月以降発生した米の不足による価格高騰で、米の売上は前期比１９３．３％と好調であったが、分類別売上では１２分類中、野菜を含む８分類が前期よりマイナスになった。そのため、来期は野菜不足の解消を中心として、すべての分類が前期実績を超えるよう、新規生産者の募集と売場の充実及び活性化を図っていく。
コンビニエンスストア 「ファミリーマート」	・対前年 101.1％ ・対前々年 104.2％	・対前年 99.7％ ・対前々年 99.9％	１．当期は最低賃金の上昇による人件費増加と電気代高騰による経費の圧迫を見据えて、前期の売上データを参考に売り逃しのない売場作りと原価の低い商品を厳選して売り込んだことで、売上が前期比１０１．１％、売上総利益が前期比１０２．７％と大幅な増益となった。 ２．前期同様、利用者の節約志向への対応として、賞味期限の近い商品に値引きシールを貼って売り切る取り組みを当期は増やして実施した。その結果、廃棄率は前期より０．５％減少と大きく改善することができた。 廃棄額 令和６年度 ８，８０６千円 令和５年度 ９，０９０千円 廃棄率

			令和6年度 3.23% 令和5年度 3.73% 3. 販売力アップのための取り組みとして、勤務シフトをSNSで共有していたが、当期はさらに店舗内の重要な情報や緊急時の連絡事項の共有も実施。その結果、連絡事項の伝達などに時間を取られることなく店舗業務に集中することができ、新規スタッフが多い中、繁忙時にも問題なく店舗運営することができた。
レストラン 「獅子銀」	・ 対前年 84.0% ・ 対前々年 90.0%	・ 対前年 83.3% ・ 対前々年 82.6%	1. 毎週月曜日を定休日に設定したため、営業日数が前期より32日減り、売上も減少したが、当期より店舗業務の効率化を図るため、セルフレジとモバイルオーダーを導入した。顧客側は待ち時間が削減され、店舗側は注文・決済業務が減少し、人手不足の解消と混雑時のチャンスロス（機会損失）を減らすことができた。 2. 当期は季節の特別メニューとして、春と夏に麺類メニューを導入した。加えて前期好評であったクリスマス、節分、バレンタインデーの来店客に粗品を進呈した。さらに客数が伸びない6月と2月にはエビフライ券を配布し、リピート客と固定客の増加を図った。
駅ラーメン 「華」	・ 対前年 110.3% ・ 対前々年 124.6%	・ 対前年 107.0% ・ 対前々年 120.3%	1. 当期も度重なる仕入価格の上昇により、令和7年1月よりメニューの価格変更を実施した。しかしながら、顧客離れを防ぐため、ポイントカードの押印額を、800

			円から500円に変更した。その結果、第四四半期は客数、売上とも前期実績を超えることができた。 2. 人員不足解消のため、学生アルバイトの紹介制度を設け、退職時に新しいスタッフが入社する体制を確立した。募集活動の時間が短縮されて、店舗内の業務に影響を及ぼさない運営ができた。
アロマリラクゼーションサロン 「もみの木HOUSE」	・対前年 101.7% ・対前々年 96.6%	・対前年 105.4% ・対前々年 98.2%	1. 既存顧客の来店頻度を増加させるため、施術の希望を伺い丁寧なカウンセリングを実施した。顧客の体調に合わせたメニューを提案した結果、客数は前期比105.4%で28名増加となった。 2. 毎月の予約状況と季節に応じたアロマ活用法をブログで配信。また、商品売上に繋げられるよう、来店時のカウンセリングの際にセルフケアのアドバイスをを行い、売上の底上げを図った。
トータルボディメンテナンス 「at rest アットレスト」	・対前年 80.6% ・対前々年 72.2%	・対前年 84.5% ・対前々年 71.1%	1. 当期もオーナーの諸事情で臨時休業もあったが、技術向上のため、ヘッドリフレやハンドリフレの講座を受講して顧客に提案し、来店頻度が増加するよう工夫を施した。 2. 令和6年9月で5周年を迎えたため、顧客向けにセルフケア勉強会を開催。顧客満足度が高まり、来店頻度が増加し、紹介による新規顧客の開拓に繋げることができた。

(参考) 「道の駅 とうじょう」の周辺環境数値

項 目	R 6 年度	R 5 年度	比較増減
ひょうご東条 I C 出入交通量	1, 576, 955 台	1, 591, 311 台	14, 356 台減
同一日当たり平均	4, 320 台	4, 348 台	28 台減
南山地区人口	2, 233 人	2, 169 人	64 人増
おもちゃ王国入場者数	347, 390 人	337, 225 人	10, 165 人増
清水寺参拝者数	62, 407 人	72, 862 人	10, 455 人減
インターパーク企業数	3 1 社	3 1 社	増減なし
ゴルフ場利用者数	816, 411 人	844, 865 人	28, 454 人減

2. 会社の概況（令和 7 年 3 月 3 1 日現在）

(1) 発行済み株式の総数 5 5 0 株

(2) 株主と出資状況

株 主	当社への出資状況	
	持 株 数	持 株 比 率
加 東 市	2 7 5	5 0 . 0 %
みのり農業協同組合	1 7 5	3 1 . 8 %
加東市商工会	4 0	7 . 3 %
兵庫県釣針協同組合	2 0	3 . 6 %
東条農業者連合	2 0	3 . 6 %
コスモス会	2 0	3 . 6 %

※小数点以下を四捨五入しているため、持株比率の合計は 100% になりません。

取締役および監査役

役 職	氏 名
代表取締役社長	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
取 締 役	
監 査 役	
監 査 役	

従業員の状況

雇用区分	氏 名
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	
正 社 員	

パートアルバイト社員の状況

部 署	人 数
事務所（事務）	1 人
特産館（販売）	6 人
コスモスの館（販売）	6 人
コ ン ビ ニ	2 5 人

参考資料1

令和6年度 道の駅とうじょう オリジナル商品等の売上状況

広報宣伝費・「道の駅スタンプカード」満点回収状況

決算報告書

第 26 期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山1丁目5番地3

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部

I 流 動 資 産

現 金 ・ 預 金	92,912,162
売 掛 金	432,644
売 掛 金 クレジット	5,711,480
商 品	7,358,487
販 売 委 託 商 品	220,488
貯 蔵 品	236,978
F C 貸 付 金	3,341,303
立 替 金	273,146
未 収 入 金	232,990
消 費 税 預 け 金	284,876
預 け 金	8,126
仮 払 金	4,326
引 出 金	70,000
貸 倒 引 当 金	△58,310

流動資産合計

111,028,696

II 固 定 資 産

1 有 形 固 定 資 産

建 物	21,407,902
建 物 附 属 設 備	4,397,873
機 械 装 置	294,914
車 両 運 搬 具	1
什 器 備 品	2,557,426
一 括 償 却 資 産	324,667

有形固定資産合計

28,982,783

2 無 形 固 定 資 産

繰 延 資 産	10,107,250
ソ フ ト ウ ェ ア	738,000

無形固定資産合計

10,845,250

3 投 資 そ の 他 の 資 産

出 資 金	8,600
保 証 金	20,000

投資その他の資産合計

28,600

固定資産合計

39,856,633

資 産 合 計

150,885,329

負債の部

I 流動負債

買掛金	17,796,131
未払金	8,764,906
預り金	1,091,500
源泉預り金	139,837
住民預り金	320,000
未払法人税等	219,300

流動負債合計

28,331,674

II 固定負債

預り保証金	7,490,000
-------	-----------

固定負債合計

7,490,000

負債合計

35,821,674

純資産の部

I 株主資本

1 資本金	30,000,000
-------	------------

30,000,000

2 利益剰余金

(1) 利益準備金	5,060,000
-----------	-----------

(2) その他利益剰余金

別途積立金	5,000,000
-------	-----------

繰越利益剰余金	75,003,655
---------	------------

うち当期純利益	(3,649,756)
---------	-------------

利益剰余金合計

85,063,655

株主資本合計

115,063,655

純資産合計

115,063,655

負債・純資産合計

150,885,329

損 益 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

(単位：円)

I 純 売 上 高		
商 品 売 上 高	28,489,662	
獅 子 銀 売 上 高	4,800,000	
コソビニ売上高	249,695,163	
駅 ラ ー メ ン 華	1,920,000	
も み の 木 売 上	720,000	
受取手数料特産館	17,310,371	
ア ッ ト レ ス ト	720,000	
公衆電話自販機売上	1,424,116	
営 業 収 入	6,699,146	
管 理 委 託 収 入	5,060,000	
直 売 所 売 上	27,770,788	
受取手数料直売所	20,286,273	364,895,519
II 売 上 原 価		
期 首 棚 卸 高	7,721,944	
商 品 仕 入 高	39,490,487	
コソビニ仕入	180,207,416	
商 品 廃 棄 損	△8,898,211	
管 理 委 託 費	5,088,127	
合 計	223,609,763	
期 末 棚 卸 高	7,358,487	216,251,276
売 上 総 利 益		148,644,243
III 販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費	146,637,879	146,637,879
営 業 利 益		2,006,364
IV 営 業 外 収 益		
受 取 利 息	77,823	
貸倒引当金戻入	22,514	
雑 収 入	2,583,288	2,683,625
V 営 業 外 費 用		
雑 損 失	21,409	21,409
経 常 利 益		4,668,580
VI 特 別 損 失		
固定資産除却損	1	1
税引前当期純利益		4,668,579
法人税等充当額		1,018,823
当 期 純 利 益		3,649,756

販売費及び一般管理費

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

(単位：円)

役 員 報 酬	336,000	
給 料 手 当	44,784,432	
賞 与	6,367,500	
法 定 福 利 費	8,870,630	
福 利 厚 生 費	2,529,808	
ハートアルハイト給与	17,566,719	
広 告 宣 伝 費	4,194,880	
運 賃	270,055	
容 器 包 装 費	867,092	
リ ー ス 料	390,130	
本 部 フ ィ ー	18,938,748	
水 道 光 熱 費	6,918,449	
車 両 関 連 費	139,380	
事 務 用 消 耗 品 費	164,103	
消 耗 品 費	2,328,837	
支 払 保 険 料	405,760	
修 繕 費	2,110,894	
租 税 公 課	226,600	
減 価 償 却 費	4,793,870	
接 待 交 際 費	68,382	
旅 費 交 通 費	1,255,578	
通 信 費	487,864	
支 払 手 数 料	2,805,069	
会 議 費	94,374	
諸 会 費	193,360	
寄 付 金	705,000	
貸 倒 引 当 金 繰 入	58,310	
保 守 管 理 費	3,822,087	
不 良 品 廃 棄	8,806,429	
家 賃 費	1,200,000	
雑	4,937,539	146,637,879
合 計		<u>146,637,879</u>

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

(単位：円)

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高		30,000,000
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高		5,060,000
その他利益剰余金			
別途積立金	当期首残高及び当期末残高		5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高		71,353,899
	当期変動額	当期純利益	3,649,756
	当期末残高		75,003,655
利益剰余金合計	当期首残高		81,413,899
	当期変動額		3,649,756
	当期末残高		85,063,655
株主資本合計	当期首残高		111,413,899
	当期変動額		3,649,756
	当期末残高		115,063,655
純資産合計	当期首残高		111,413,899
	当期変動額		3,649,756
	当期末残高		115,063,655

個 別 注 記 表

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法

(平成10年4月1日以降に取得した建物・平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物は定額法)

② 無形固定資産

定額法

③ 繰延資産

定額法

(3) 収益及び費用の計上基準

収益・・・・・・・・実現主義

費用・・・・・・・・発生主義

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

550株

4. その他の注記

監 査 報 告

私監査役は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第26期事業年度の
貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表、事業報告および付属
明細書を監査しました結果、適法かつ正確であることを認めます。

令和 7年5月21日

監 査 役

監 査 役

報 告 書

前記の通りご報告申し上げます。

令和 7年5月21日

株式会社夢街人とうじょう

代表取締役

比較決算報告書

第 26 期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月31日

株式会社 夢街人とうじょう

加東市南山1丁目5番地3

比較貸借対照表

令和 7年 3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
【流 動 資 産】	【 111,028,696】	【 105,959,753】	【 5,068,943】	【 104.7】
現 金 ・ 預 金	92,912,162	88,949,682	3,962,480	104.4
売 掛 金	432,644	244,602	188,042	176.8
売掛金クレジット	5,711,480	4,497,001	1,214,479	127.0
商 品	7,358,487	7,721,944	△363,457	95.2
販売委託商品	220,488	146,334	74,154	150.6
貯 蔵 品	236,978	385,368	△148,390	61.4
F C 貸 付 金	3,341,303	3,192,227	149,076	104.6
立 替 金	273,146	265,956	7,190	102.7
未 収 入 金	232,990	315,585	△82,595	73.8
消費税預け金	284,876	251,116	33,760	113.4
預 け 金	8,126	8,126	0	100.0
仮 払 金	4,326	4,326	0	100.0
引 出 金	70,000		70,000	
貸倒引当金	△58,310	△22,514	△35,796	258.9
【固 定 資 産】	【 39,856,633】	【 42,339,304】	【 △2,482,671】	【 94.1】
[有形固定資産]	[28,982,783]	[30,560,324]	[△1,577,541]	[94.8]
建 物	21,407,902	23,313,443	△1,905,541	91.8
建物附属設備	4,397,873	4,910,335	△512,462	89.5
機 械 装 置	294,914	393,218	△98,304	75.0
車両運搬具	1	1	0	100.0
什 器 備 品	2,557,426	1,943,327	614,099	131.6
一括償却資産	324,667		324,667	
[無形固定資産]	[10,845,250]	[11,750,380]	[△905,130]	[92.2]
繰 延 資 産	10,107,250	10,796,380	△689,130	93.6
ソフトウェア	738,000	954,000	△216,000	77.3
[投資その他の資産]	[28,600]	[28,600]	[0]	[100.0]
出 資 金	8,600	8,600	0	100.0
保 証 金	20,000	20,000	0	100.0
資 産 合 計	150,885,329	148,299,057	2,586,272	101.7

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
【流 動 負 債】	【 28,331,674】	【 28,735,158】	【 △403,484】	【 98.5】
買 掛 金	17,796,131	15,896,391	1,899,740	111.9
未 払 金	8,764,906	10,866,692	△2,101,786	80.6
預 り 金	1,091,500	1,206,600	△115,100	90.4
従 業 員 預 り 金		690	△690	
源 泉 預 り 金	139,837	170,085	△30,248	82.2
住 民 預 り 金	320,000	244,600	75,400	130.8
未 払 法 人 税 等	219,300	350,100	△130,800	62.6
【固 定 負 債】	【 7,490,000】	【 7,490,000】	【 0】	【 100.0】
預 り 保 証 金	7,490,000	7,490,000	0	100.0
負 債 合 計	35,821,674	36,225,158	△403,484	98.8
【株 主 資 本】	【 115,063,655】	【 112,073,899】	【 2,989,756】	【 102.6】
資 本 金	30,000,000	30,000,000	0	100.0
[利 益 剰 余 金]	[85,063,655]	[82,073,899]	[2,989,756]	[103.6]
利 益 準 備 金	5,060,000	5,060,000	0	100.0
(その他利益剰余金)	(80,003,655)	(77,013,899)	(2,989,756)	(103.8)
別 途 積 立 金	5,000,000	5,000,000	0	100.0
繰越利益剰余金	75,003,655	72,013,899	2,989,756	104.1
(うち当期純利益)	(3,649,756)	(6,469,941)	(△2,820,185)	(56.4)
純 資 産 合 計	115,063,655	112,073,899	2,989,756	102.6
負債・純資産合計	150,885,329	148,299,057	2,586,272	101.7

比較損益計算書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比
				%
【純 売 上 高】	【 364,895,519】	【 360,111,065】	【 4,784,454】	【 101.3】
商 品 売 上 高	28,489,662	26,874,179	1,615,483	106.0
獅 子 銀 売 上 高	4,800,000	4,800,000	0	100.0
コソビニ売上高	249,695,163	250,369,376	△674,213	99.7
駅 ラ ー メ ン 華	1,920,000	1,920,000	0	100.0
も み の 木 売 上	720,000	720,000	0	100.0
受取手数料特産館	17,310,371	18,258,098	△947,727	94.8
ア ッ ト レ ス ト	720,000	720,000	0	100.0
公衆電話自販機売上	1,424,116	1,524,107	△99,991	93.4
営 業 収 入	6,699,146	3,336,175	3,362,971	200.8
管 理 委 託 収 入	5,060,000	5,060,000	0	100.0
直 売 所 売 上	27,770,788	25,804,872	1,965,916	107.6
受取手数料直売所	20,286,273	20,724,258	△437,985	97.8
【売 上 原 価】	【 216,251,276】	【 214,087,889】	【 2,163,387】	【 101.0】
期 首 棚 卸 高	7,721,944	6,758,054	963,890	114.2
商 品 仕 入 高	39,490,487	38,832,469	658,018	101.6
コソビニ仕入	180,207,416	180,572,932	△365,516	99.7
商 品 廃 棄 損	△8,898,211	△9,415,687	517,476	94.5
管 理 委 託 費	5,088,127	5,062,065	26,062	100.5
期 末 棚 卸 高	7,358,487	7,721,944	△363,457	95.2
売 上 総 利 益	148,644,243	146,023,176	2,621,067	101.7
【販売費及び一般管理費】	【 146,637,879】	【 141,000,878】	【 5,637,001】	【 103.9】
営 業 利 益	2,006,364	5,022,298	△3,015,934	39.9
【営 業 外 収 益】	【 2,683,625】	【 3,073,850】	【 △390,225】	【 87.3】
受 取 利 息	77,823	63,107	14,716	123.3
貸倒引当金戻入	22,514	27,819	△5,305	80.9
雑 収 入	2,583,288	2,982,924	△399,636	86.6
【営 業 外 費 用】	【 21,409】	【 28,374】	【 △6,965】	【 75.4】
雑 損 失	21,409	28,374	△6,965	75.4
経 常 利 益	4,668,580	8,067,774	△3,399,194	57.8
【特 別 損 失】	【 1】		【 1】	
固定資産除却損	1		1	
税引前当期純利益	4,668,579	8,067,774	△3,399,195	57.8
法人税等充当額	1,018,823	1,597,833	△579,010	63.7
当 期 純 利 益	3,649,756	6,469,941	△2,820,185	56.4

比較販売費及び一般管理費

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	対 前 期 増 減	対前期比 %
役 員 報 酬	336,000	336,000	0	100.0
給 料 手 当	44,784,432	42,773,106	2,011,326	104.7
賞 与	6,367,500	6,027,030	340,470	105.6
法 定 福 利 費	8,870,630	8,137,488	733,142	109.0
福 利 厚 生 費	2,529,808	1,822,392	707,416	138.8
ハートフルバイト給与	17,566,719	16,668,194	898,525	105.3
広 告 宣 伝 費	4,194,880	3,338,762	856,118	125.6
運 賃	270,055	261,392	8,663	103.3
容 器 包 装 費	867,092	566,756	300,336	152.9
リ ー ス 料	390,130	341,018	49,112	114.4
本 部 フ ィ ー	18,938,748	19,763,121	△824,373	95.8
水 道 光 熱 費	6,918,449	5,435,598	1,482,851	127.2
車 両 関 連 費	139,380	204,466	△65,086	68.1
事務用消耗品費	164,103	159,358	4,745	102.9
消 耗 品 費	2,328,837	2,267,484	61,353	102.7
支 払 保 険 料	405,760	408,700	△2,940	99.2
修 繕 費	2,110,894	3,030,663	△919,769	69.6
租 税 公 課	226,600	263,200	△36,600	86.0
減 価 償 却 費	4,793,870	5,895,110	△1,101,240	81.3
接 待 交 際 費	68,382	114,048	△45,666	59.9
旅 費 交 通 費	1,255,578	1,228,961	26,617	102.1
通 信 費	487,864	473,500	14,364	103.0
支 払 手 数 料	2,805,069	2,924,802	△119,733	95.9
会 議 費	94,374	103,340	△8,966	91.3
諸 会 費	193,360	214,070	△20,710	90.3
寄 付 金	705,000		705,000	
貸倒引当金繰入	58,310	22,514	35,796	258.9
保 守 管 理 費	3,822,087	3,615,011	207,076	105.7
不 良 品 廃 棄	8,806,429	9,090,150	△283,721	96.8
家 賃	1,200,000	1,200,000	0	100.0
雑 費	4,937,539	4,314,644	622,895	114.4
合 計	146,637,879	141,000,878	5,637,001	103.9

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

(単位：円)

		当 期	前 期
株主資本			
資本金	当期首残高及び当期末残高	30,000,000	30,000,000
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高	5,060,000	5,060,000
その他利益剰余金			
別途積立金	当期首残高及び当期末残高	5,000,000	5,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高	71,353,899	65,543,958
	当期変動額 当期純利益	3,649,756	6,469,941
	当期末残高	75,003,655	72,013,899
利益剰余金合計	当期首残高	81,413,899	75,603,958
	当期変動額	3,649,756	6,469,941
	当期末残高	85,063,655	82,073,899
株主資本合計	当期首残高	111,413,899	105,603,958
	当期変動額	3,649,756	6,469,941
	当期末残高	115,063,655	112,073,899
純資産合計	当期首残高	111,413,899	105,603,958
	当期変動額	3,649,756	6,469,941
	当期末残高	115,063,655	112,073,899

第 2 6 期部門別損益計算書

営業契約書（抜粋）

○部門別人件費資料（令和 7 年 3 月 3 1 日現在）

第27期 事業計画

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

1. 重点事項等

(1) 当道の駅施設が利用者にとって有効に機能する様に創意工夫に努め、安全で活力のある道の駅の運営を目指す。

(2) 施設の設置目的である地場産品の展示販売による消費の拡大を図り、地域産業の振興及び地域資源の活用を通して来駅者と地域住民の交流を促し、活性化に貢献できるような企画を立案し、実行する。

2. 今年度基本方針

<道の駅とうじょう>

- ①道の駅連絡会との連携を強化する。兵庫県道の駅駅長会、全国道の駅連絡会のネットワークを通して他の道の駅との連携を強化し、新商品の開発や施設維持管理に関する情報等を共有し、安全で楽しい道の駅の運営に活かす。
- ②開業25周年企画として集客を狙った企画を実施する。さらに道の駅とうじょうの魅力や加東市の地域性をSNSで発信するとともに、加東市・北播磨地域の情報や特産品のアピール、また来店を促すよう働きかける。
- ③年に一度、利用者の多い3月に施設状況や商品構成、接客等に関してアンケートを実施し、利用者の満足度を把握し健全な運営に活かす。
- ④従業員がお互いに協力し合い、道の駅の従業員として誇りを持って職務を遂行できるよう職場環境を整え、秩序の保持に努める。

<特産館・夢街人>

①地域産品の訴求

山田錦を使用した酒類・菓子類の販売の強化を図る。

②自家需要商品の充実

米粉使用商品をはじめ、季節やイベントを意識した菓子類・食品を増やしてお土産以外の自家需要商品の売上向上に努める。

③兵庫県下を中心に全国の有名産地の名産品の品揃えの充実

北播磨地域特産品、兵庫県下特産品に関連した商品を増やす。(もち麦・桃・いちご)

④営業日及び季節による営業時間の変更

毎月第二月曜日を定休日とする。(年末年始を含む)

人件費、営業効率面を考慮し、閉店時間を変更するなどの対応をとる。

4月～6月、9月、10月、3月	平日は午後6時30分、土日祝日は午後7時
7月、8月	全日午後7時
11月、12月	全日午後6時30分
1月、2月	全日午後6時

<農産物直売所・コスモスの館> ※営業日、営業時間は特産館と同じ

①野菜の売上増加を目指すべく、春の筍、秋の黒枝豆、冬の東条ネギの3品目を中心に再強化するとともに、更にとうもろこしも強化して野菜全体の売上増加を図る。

②引き続き有機野菜コーナーを設置し、健康志向のお客様の取り込みを図るとともに新規分野への開拓を行う。

③特産館と同様、営業日及び季節による営業時間の変更を実施する。

<コンビニ・ファミリーマート>

①収益率の向上と廃棄率抑制に努める。

- ・ゴールデンウィーク・お盆・周辺観光施設のイベント時の繁忙期、秋の行楽シーズンなど来店客層に合わせた品揃えを行う。
- ・売り逃しのないよう、カウンターフーズ、中食（おにぎり、弁当、サンドイッチ類）の発注数量を天気予報で予測し、売上と納品数量のバランスを取って廃棄率4%以下を継続して目指す。

②SNSを利用してスタッフとのコミュニケーションの円滑化を図り、個々の能力を伸ばせるように工夫し、最盛期に向けて準備を整える。

③ファミリーマート本部の取り組み。

- ・ファミペイの更なる利用者拡大を目標とし、お得な情報の配信やメーカータイアップキャンペーンを実施して、自店の固定客の増加に努める。
- ・プライベートブランドのファミマル商品について、高品質・低価格を目指した商品強化を図る。
- ・賞味期限の迫った商品の値引き販売など、物価高の対応やSDGSの取り組みなど消費者の思考変化に対応した店舗運営を行っていく。

<レストラン・獅子銀>

①ランチタイムの更なる固定客の増加を目指すべく、SNSで日替わりランチメニューなどの情報配信を行い、集客を図る。

②ゴールデンウィーク、お盆や年始の繁忙期には通常メニューを減らして特別メニュー（原価率が高めでもお客様の目を引く料理）を展開して回転率を上げ、同時に単品メニューを増やして、客単価アップを狙う。また、夏季及び冬季には期間限定メニューを展開し来店頻度を上げる工夫を施す。

③本社所在地である丹波篠山産の食材使用を店内POPやSNSでPRして、団体客の誘致を行う。

<駅ラーメン・華(はな)>

- ①毎年、学生アルバイトの退職があるため、退職者・入社者どちらもメリットがある紹介制度を設けて人材確保に努める。加えて平日に長期勤務できる方の募集について、当店独自の勤務条件を提示して、採用に繋げる。
- ②お客様へのサービス向上を目指すべく、スタッフ教育の強化として『挨拶・正確・迅速・笑顔・気配り』など基本的な接客について、スタッフによるバラつきがなく実行できるよう、曜日・時間を決めて定期的に研修教育を行う。
- ③価格変更による顧客離れを防ぐための工夫を施す。

<アロマリラクゼーションサロン・もみの木HOUSE>

- ①来店客の9割が既存顧客の為、お一人お一人の体の状態を管理して記録し、顧客に合わせた施術を提供して、客単価を上げられるよう工夫する。新規顧客の開拓として、引き続き既存顧客の紹介特典を実施する。
- ②季節の変わり目に体調を崩される顧客が多いため、その場合はカウンセリングの時間を多めに取り、効果的な施術ができるように工夫する。さらに自宅でできるセルフケアを紹介して、商品売上に繋げる。

<トータルボディメンテナンス・at rest>

- ①新規顧客の開拓として、予約状況をSNSで随時発信、当日の空き時間案内のPOPをドアに掲示して新規の来店を促し、できるだけ空き時間が出ないように工夫する。
- ②ボディ以外のヘッドや足つぼのオプションコースの見直しを行い、季節によってオイルやスプレーも変更して顧客の満足度を高められるよう働きかける。
- ③顧客満足度を高めるための取り組み（セルフケア勉強会など）を展開する。

<情報・休憩コーナー>

- ①北播磨地域を中心に正確でタイムリーな情報を効率よく提供出来るように工夫する。ポスター・チラシの優先順位を明確化し、常に整理整頓に努める。
- ②地元加東市の求人情報コーナーの設置（継続）
- ③土日祝日の利用者が多いため、大声での会話を避け短時間での利用、アルコール飲料の禁止、充電禁止、火気厳禁の啓発POPを配置し、安心して利用していただけるよう、設備の維持管理に努める。

3. 施設管理の計画

施設名	営業時間	定休日
特産館 (夢街人)	■ 4月～6月、9月、10月、3月 平日 午前9時～午後6時30分 土日祝 午前9時～午後7時 ■ 7月、8月 全日 午後7時閉店	毎月第2月曜日 年末年始

	■ 11月、12月 全日 午前9時～午後6時30分 ■ 1月、2月 全日 午後6時閉店	
農産物直売所 (コスモスの館)	「特産館」に準じる	「特産館」に 準じる
コンビニ (ファミリーマート)	24時間	無休
レストラン (獅子銀)	午前11時～午後8時 (ラストオーダー：午後7時30分)	毎週月曜日 年末年始
レストラン (駅ラーメン 華)	午前11時～午後3時30分 午後5時30分～午後8時 (ラストオーダー：午後7時30分) ※毎週火曜・水曜 午後休	毎週木曜日 年末年始
アロマリラクゼーション (もみの木HOUSE)	午前10時～午後6時 (最終受付 午後4時)	毎週月曜日 年末年始
トータルボディメンテナンス (a t r e s t)	午後12時～午後9時 (最終受付 午後8時)	毎週火曜日 年末年始
情報・休憩室	24時間開放	無休
トイレ	24時間使用可	無休

■勤務時間

特産館 : 午前8時45分～午後6時45分
 (土日祝、7月、8月の午後7時閉店時は午後7時15分迄、
 1、2月の午後6時閉店時は午後6時15分まで勤務。)
 直売所 : 特産館に準じる。
 コンビニ: 午前6時00分～翌午前6時00分

■勤務体制

特産館 (総務を含む)

社員 (駅長、経理担当社員)、パート従業員のシフト表による1ヶ月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。

直売所

社員 (部長)、パート従業員のシフト表による1ヶ月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。

コンビニ

社員 (店長含む)、パート従業員のシフト表による1ヶ月単位の労働基準法に基づいた変形労働時間制。(※深夜勤務有り)

第27期収支計画

収入の部

支出の部

総合計

(単位:千円)

項 目	R7年度計画	R6年度実績	差 額	前期比	項 目	R7年度計画	R6年度実績	差 額	前期比
売 上	320,100	315,540	4,560	101.4%	売上原価	217,850	216,251	1,599	100.7%
受取手数料	39,300	37,596	1,704	104.5%	人 件 費	84,700	80,455	4,245	105.3%
管理委託収入	5,940	5,060	880	117.4%	水光熱費	8,320	6,918	1,402	120.3%
営業収入	6,700	6,699	1	100.0%					
指定管理料 (電気代補助)	710	621	89	114.3%	一般管理費	59,800	59,264	536	100.9%
営業外収入 (雑収入)	1,150	1,102	48	104.4%	営業外費用	20	22	-2	90.9%
営業外収入	970	961	9	100.9%	合 計	370,690	362,910	7,780	102.1%
合 計	374,870	367,579	7,291	102.0%	収支差額	4,180	4,669	-489	89.5%

※収支差額：経常利益(税引前当期純利益) ※法人税等算入せず。